

平成23年行政事業レビューシート

(文部科学省)

事業名	物質・材料科学技術研究開発の総合的推進等		担当部局	研究振興局		作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	昭和63年度～平成22年度		担当課室	基盤研究課 ナノテクノロジー・材料開発推進室		ナノテクノロジー・材料開発推進室長 坂本 修一			
会計区分	一般会計		施策名	X-4 ナノテクノロジー・材料分野の研究開発の重点的推進					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	第3期科学技術基本計画(平成18年3月閣議決定)					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	様々な分野に波及効果を及ぼす基盤的技術である物質・材料科学技術の振興に関して効果的な政策を立案し遂行するため、ナノテクノロジー・材料分野の重点事項に関する調査等を実施する。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	専門的な知見を踏まえ適切に施策を立案及び遂行するため、外部有識者からヒアリングを行うほか、国内外の研究機関等の現地調査を実施することにより、文献情報のみでは得ることが難しい最新のナノテクノロジー・材料分野における国内・海外の研究動向を把握するなどし、施策の検討に活用する。								
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他								
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求			
		当初予算	11.2	8.5	8.4	-	-		
		補正予算	▲0.02	▲0.03	-	-	-		
		繰越し等	-	-	-	-	-		
	計	11.2	8.5	8.4	-	-			
	執行額	8.7	4.5	4.9	-	-			
執行率(%)	77.7%	52.9%	58.3%	-	-				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)	
	本事業は、物質・材料科学技術研究開発の推進方策についての調査・検討等により今後の他の施策の推進に資するものであり、アウトカムの指標は設定できない。		成果実績		-	-	-	-	
			達成度	%	-	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込	
	(検討会等の開催実績) ①ナノテクノロジー・材料分野に関する外部専門家からのヒアリング (主な国内・海外現地調査) ②物質・材料研究機構現地調査 ③ナノテクノロジーに関する海外動向調査と情報収集		活動実績① (当初見込み)	回	5	1	0 (-)	- (-)	
			活動実績② (当初見込み)	回	16	25	15 (-)	- (-)	
			活動実績③ (当初見込み)	回	8	2	5 (-)	- (-)	
単位当たりコスト	0.4(百万円/回)		算出根拠	(ナノテクノロジーに関する海外動向調査と情報収集) 単位当たりコスト=(平成22年度予算額:2百万円)/(調査回数:5回)					
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由					
	計	-	-						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的 状況・ 予算	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	※出席を予定していた会議がオフシーズンでの開催となったため、当初予定と比較して、旅費が安価であったこと等のため。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。(※)	
資金の 流れ、 費目・ 使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、 成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	—	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか	
	—	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検 結果	<ul style="list-style-type: none"> 平成22年2～3月に実施した現地調査にあたっては、複数の有識者の知見を踏まえて調査地・機関を選定し、効果的・効率的な調査となるよう努めた。 引き続き、予算要求段階から次年度の検討事項について、具体的な計画に努めるべき。 		
予算監視・効率化チームの所見			
平成21年度レビューの指摘を踏まえ、平成22年度をもって廃止の上、他事業と整理統合している。			
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
平成23年度より「先端基盤技術研究開発推進経費」へ整理統合して実施。			

【A】

文部科学省
4.9百万円

・非常勤職員手当 2.4 百万円
・在外研究員等旅費 1.9 百万円
・職員旅費 0.5 百万円
・委員等旅費等 0.2 百万円

を含む

（ ナノテクノロジー・材料科学技術の振興に関して効果的な政策を立案し遂行するため、ナノテクノロジー・材料分野の重点事項に関する調査等を実施。 ）

※四捨五入により合計値と一致しない

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：百万円）

A.文部科学省			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
非常勤職員 手当	給与	2.4			
在外研究員 等旅費	専門家の海外派遣	1.9			
職員旅費	国内旅費、外国旅費	0.5			
委員等旅費等	有識者のヒアリング出席に係る旅費・謝金	0.2			
計		4.9	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者について
 記載する。費目と使途の双方
 で実情が分かるように記載)